

# みなこの歴史散歩 No.29

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放映

## ミニパネル展「畠山重忠のルート 秩父と皆野の武士」の開催について

社会教育担当 望月暁

### ミニパネル展の内容

町では、現在放映されているNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に合わせ、郡内と皆野町にゆかりのある鎌倉武士を紹介するミニパネル展を開催します。今回はその内容をまとめます。

展示は大きく2つから構成されます。1つ目は平氏の流れを汲み、秩父郡内に大きな勢力を形成した秩父氏。畠山重忠は同氏から出た武士です。本展前半では系図などをもとに、秩父氏について解説します。2つ目は皆野町や郡内各地に所領を持ち、合戦や幕府の公的行事に参加した中小武士についてです。彼らは町内の大浜や大洲など、所領があった場所を名字にしました。展示後半では、古文書や文化財をもとに、その姿に迫ります。

### 畠山重忠のルート、秩父氏

秩父氏は桓武天皇の血筋を引く平良文を祖とする一族で、「坂東八平氏」の祖ともいわれます。重要な人物を紹介しましょう。

#### (1) 武基・秩父氏館と牧の経営

秩父氏館を築いたとされる人物です。館は周囲を吉田川と沢に囲まれた高台にあります。武基は同館を拠点に、武士の象徴である馬を生産する牧(牧場)を経営しました。



秩父氏館跡  
(現吉田小学校)

#### (2) 重綱・畠山氏の出発

武基の孫重綱は、郡内から大蔵館(現嵐山町)に移った人物です。同館で起きた、秩父氏嫡流をめぐる争いは「大蔵合戦」とよばれ、重弘が重隆を討ちました。重弘の孫が重忠です。重綱からは畠山氏や河越氏など、後に鎌倉殿を支える武士が出ています。

### 鎌倉殿を支えた党の者

天皇の血筋を引く秩父氏に対し、地元ゆかりの武士は党と呼ばれました。丹党と児玉党は郡内を代表する党です。丹党は現在の秩父市、児玉党は児玉郡を中心に皆野町にも勢力がありました。

#### (1) 平姓児玉党・大浜氏と大洲氏

重綱は児玉党と婚姻関係を結び、児玉党の行重と行高を養子にしました。その子孫は平姓児玉党と呼ばれ、町の武士の祖となります。町には円福寺・皆野棕神社周辺に本拠があったとされる大浜氏や、大字大洲から金沢にかけて勢力を有した大洲氏などがいます。

#### ◎大洲氏



薬研堀の跡  
(大洲出土)

#### ◎大浜氏



畠山重能の墓  
(円福寺境内)

### ミニパネル展のご案内

期間 9月5日(月)～30日(金)

※平日のみ

場所 役場庁舎内ロビー

時間 午前8時30分～午後5時15分

問合せ 教育委員会社会教育担当

☎ 62・4563